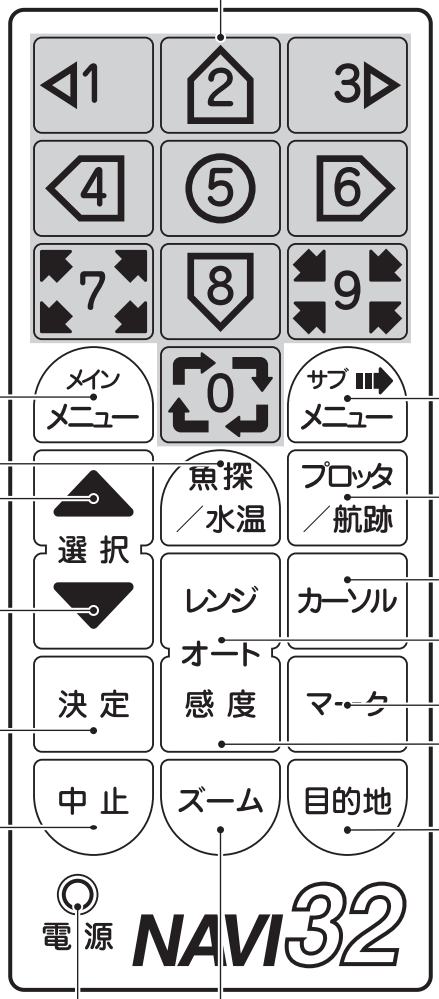
第2章 操作編（必ずお読みください）

■標準リモコン（NF/NFD/ST/STDシリーズ）



●数字キー

緯度／経度の数値設定、メニュー項目を設定するとき、魚探の深度設定などに使用します。数字キー2及び4～9はプロッタ画面で海岸線地図の拡大、縮小、移動に、また2,4,5,6,8はカーソルの移動に使います。数字キー0は、プロッタ画面で地図の表示のしかた（ビュー、最大4つまで）を切り替える時に使います。数字キー1,3はプロッタ画面上で地図表示部と魚探／水温表示部の表示幅の比を変えるときに使います。
（42、45～47ページ参照）

●メインメニューキー

メニュー表示させたりメニュー画面で1つ前のメュー画面に戻る時に使用します。（29～31ページ参照）

●魚探／水温キー

プロッタ画面を表示している状態から、魚探画面を表示させる時に押します。
もう一度押すとAスコープ画面に切り換わります。さらにもう一度押すと水温画面に切り替わります。
（111～112、130ページ参照）

●選択キー

水深レンジ、感度を変える時、メニューモードで項目を選択するときに使用します。

●決定キー

プロッタ画面で目的地を登録したり呼び出したりする時に使用します。またメニューモードの時に使用します。

●中止キー

アラームの音を止める時に使用します。メニューモードを消して元の画面に戻る時に押します。
魚探画面で画像送りを一時止める時、画像送り速度を変える時などに使用します。
カーソル表示中は、目的地、イベントマーク、メモマーク、作図をカーソルで消去するメニューを表示します。

●電源ランプ

電源ON時に点灯します。
なお、電源のON/OFFは本体前面の電源スイッチで行います。

●ズームキー

魚探画面からズーム機能を使う場合に使用します。
（118ページ参照）

●サブメニューキー

メインメニュー内より、よく使用するメニュー項目を表示，設定できる簡易メニューです。（31ページ参照）

●プロッタ/航跡キー

一回押すと魚探/水温画面からプロッタ画面へ切り換わります。プロッタ画面で押すと航跡記録を入→切,切→入と切り換えます。
（71ページ参照）

●カーソルキー

プロッタ画面で押すとカーソル（＋印）を表示します。もう一度押すと画面から消えます。一時目的地の登録に使います。1秒以上押すとカーソルの種類が変わります。
（47～49ページ参照）

●レンジ、オートレンジキー

魚探画面で水深レンジを替える時（マニュアル）。マニュアルレンジからオートレンジに戻す時には1秒以上押します。
（119～120ページ参照）

●マークキー

プロッタ画面上に現在位置をマーク（色、形はメニューで指定できる）します。このマークの位置は電源を切っても記憶しています。
（魚探、水温…どのモードでもマークすることができます。）
（73～76ページ参照）

●感度、オート感度キー

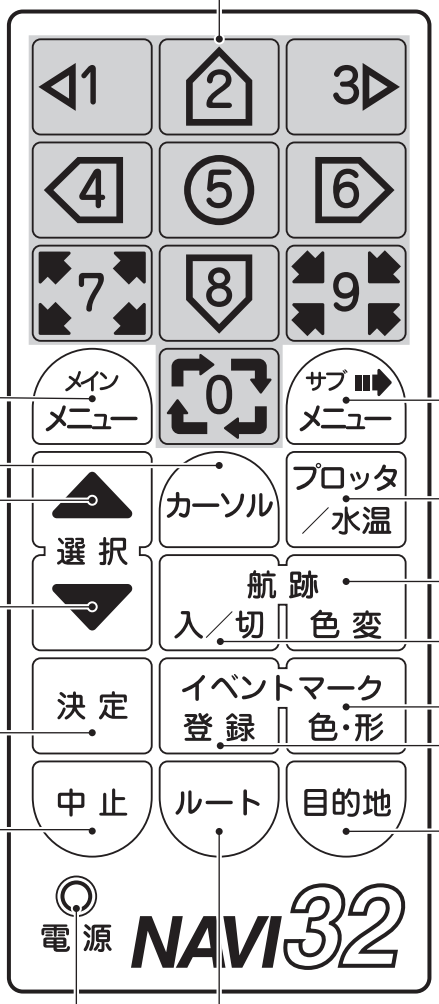
魚探画面で感度の調整をする時（マニュアルゲイン）押します。マニュアルゲインからオートゲインに戻す時には1秒以上押してください。（123ページ参照）

●目的地キー

プロッタ画面で目的地を登録したり、呼び出したりする時に使用します。
（56～63ページ参照）

●キータッチについて
文中に出てくる長押しとは、キーを2～3秒押し続けることです。通常のタッチ（軽く押すこと）と機能が違いますのでご注意下さい。

■標準リモコン（N/NDシリーズ）



●数字キー

緯度／経度の数値設定、メニュー項目を設定するときなどに使用します。数字キー2及び4～9はプロッタ画面で海岸線地図の拡大、縮小、移動にまた2,4,5,6,8はカーソルの移動に使います。
また数字キー0は、プロッタ画面で4つまでの画面表示を切り替えて表示させたい時に使います。
数字キー1,3はプロッタ画面上で右端に水温画面を同時に表示していますが、この水温画面の表示幅を変えるときに使います。
（42、45～47ページ参照）

●メインメニューキー

メニュー表示させたりメニュー画面で1つ前のメニュー画面に戻る時に使用します。
（29～31ページ参照）

カーソルキー

プロッタ画面で押すとカーソル（+印）を表示します。もう一度押すと画面から消えます。一時目的地の登録などに使います。1秒以上押すとカーソルの種類が変ります。
（47～49ページ参照）

●選択キー

メニューモードで項目を選択するときなどに使用します。

●決定キー

プロッタ画面で目的地を登録したり呼び出したりする時に使用します。またメニューモードの時に使用します。

●中止キー

アラームの音を止める時に使用します。メニューモードを消して元の画面に戻る時に押します。
カーソル表示中は、目的地、イベントマーク、メモマーク、作図をカーソルで消去するメニューを表示します。

●電源ランプ

電源ON時に点灯します。なお、電源のON/OFFは本体前面の電源スイッチで行います。

●ルートキー

ルートリストを表示させる時に使用します。
（65～66ページ参照）

●サブメニューキー

メインメニュー内より、よく使用するメニュー項目を表示，設定できる簡易メニューです。
（31ページ参照）

●プロッタ/水温キー

一回押すとプロッタ画面から水温画面へ切り換わります。もう一回押すとプロッタ画面に戻ります。
（130ページ参照）

●航跡 色変キー

押すと航跡色メニューになります。メニューの中で、新しく記憶する航跡の色を選びます。
（69ページ参照）

●航跡 ON／OFFキー

プロッタ画面で押すと航跡記録を入→切,切→入と切り換えます。
（71ページ参照）

●マーク 色・形キー

イベントマークの色と形を変更したいとき、このキーを押してメニューの中から選びます。
（73～76ページ参照）

●マーク 登録キー

プロッタ画面上に現在位置でマークを登録します。このマークの位置は電源を切っても記憶しています。
（水温画面表示中でもマークすることができます。）
（73ページ参照）

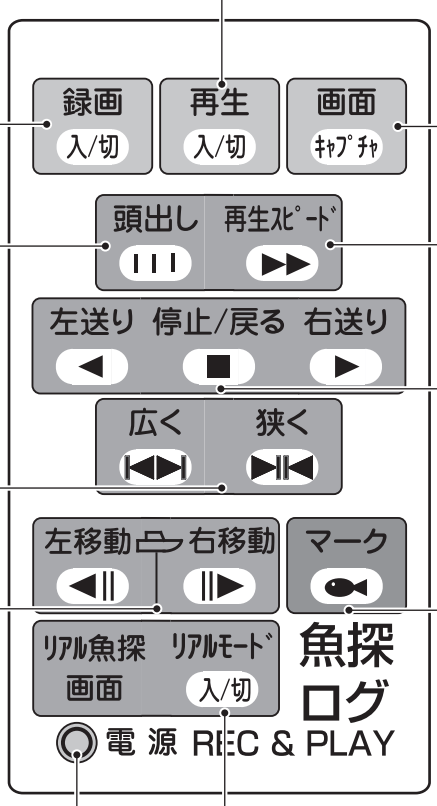
●目的地キー

プロッタ画面で目的地を登録したり、呼び出したりする時に使用します。
（56～63ページ参照）

●キータッチについて
文中に出てくる長押しとは、キーを2～3秒押し続けることです。通常のタッチ（軽く押すこと）と機能が違いますのでご注意下さい。

■魚探ログリモコン(7インチワイド、N、NDモデルは除く)

魚探ログリモコンは、魚探の録画、再生機能(143～152ページ参照)及び画面キャプチャ機能(157ページ参照)を簡単にお使いいただくためのリモコンです。録画、再生機能を持たない7インチワイドモデル、N、NDシリーズは、このリモコンは付属されていません。
5200NF-ST/STDシリーズ、8400NF-ST/STDシリーズは、オプションとしてこのリモコンがご使用いただけます。



●再生入／切キー
「再生画面」になり、録画された魚探データの再生をします。「再生画面」中に押すと、前のモードに戻ります。
(147ページ参照)

●画面キャプチャキー
プロッタ魚探の画面全体を画像データとしてデータカードに保存します。
保存したデータは、プロッタ魚探やパソコンで見ることができます。
(157ページ参照)

●録画入／切キー
魚探ログデータの録画を開始／終了します。
(146ページ参照)

●再生スピードキー
録画された魚探の自動送りの速度を変更します。スピードは、コマ送りと自動送り3段階のスピードです。押すごとに、スピードが1段階ずつアップしていき、長押しをするとコマ送りに変わります。
(148ページ参照)

●頭出しキー
魚探ログデータ再生時に、決められた点にジャンプ(頭出し)します。長押しをすることによりデータ全体を見ながら頭出しすることができます。
(149ページ参照)

●右送り、左送り、停止キー
録画された魚探データを左右に自動送りします。停止キーを押すと、自動送りを停止します。
(148ページ参照)

●広く、狭くキー
再生した魚探の録画データの横の拡大幅を広くしたり、狭くしたりします。
(149ページ参照)

●マークキー
プロッタ画面上に現在位置をマーク(色、形はメニューで指定できる)します。このマークの位置は電源を切っても記憶しています。(魚探、水温…どのモードでもマークすることができます。)
(73、150ページ参照)

●右移動、左移動キー
魚探ログ再生時、魚探ログカーソル移動させて、即座に見たい場所に移動できます。
(150～152ページ参照)

●リアルモードキー
通常画面時、リアルモードキーを押すと、リアル魚探画面になります。
(143ページ参照)

●電源ランプ
電源ON時に点灯します。
なお、電源のON/OFFは本体前面の電源スイッチで行います。

●キータッチについて
文中に出てくる長押しとは、キーを2～3秒押し続けることです。通常のタッチ(軽く押すこと)と機能が違いますのでご注意下さい。

〈電源を入れる、切るには〉

注意

電源を入れた時は、システムを確認し地図データを読み込み、電源を切った時はユーザーデータを保存し、各機能の設定を記憶するなど、電源ON、OFF時に重要な処理を行います。
本機の電源が入った状態でエンジンを始動すると、急激な電圧変動により本機が瞬断してしまう場合があります。瞬断によって本機が正常に起動しなかったり、データが保存されない場合がありますので、必ずエンジンを始動してから、本体の電源を入れてください。

電源を入れるには…

ON キーを押すと、電源が入り「ピィー」と音が鳴ります。

↓ システム確認のため、画面が表示するまでに数秒間かかります。

システムを確認し、数秒後に注意画面が表示します。

↓

プロッタ／魚探画面が表示して、地図データを読み込みます。
（地図データの読み込み作業には数秒かかります。読み込み中はプロッタ画面に「地図データ読込み中」と表示します。）
〈注意〉N、NDシリーズはプロッタ／水温グラフ画面が表示されます。

↓

地図データが正常に表示されていれば完了です。
（地図データが表示されない場合は電源を切り、数秒待ってから、電源を入れてください。）

電源を切るには…

OFF キーを2～3秒押し続けると、「ピィピィ」と音が鳴ります。

↓ ※画面キャプチャ機能が入りの時、キーを短く押すと、キャプチャ機能が働きます。

OFF キーから指を離します。データ保存中画面が表示し数秒後、電源が切れます。

注意

電源の切り方について
電源を切る動作中に、ユーザーデータを保存しますので、必ず手順に従って電源を切ってください。船のメインスイッチなどから直接切らないでください。正しい手順で行わないとデータが保存されない場合があります。

〈本体の動作が止まってしまって通常の電源の切り方ができない場合は…〉

本体の動作が止まってしまったり、キー操作ができなくなり、通常の電源の切り方ができない場合は、以下の方法で電源を切ってください。

強制終了する（電源を切る）には…

OFF キーを10秒以上押し続けると、電源が切れます。

強制終了した場合、ユーザーデータが保存されない場合があります。

〈メニューの使い方〉メニューの基本的な使い方をマスターしよう！

メニューは2種類のメニューがあります。

メインメニュー…ほとんどの機能は、メインメニューから呼び出します。多くの機能を網羅するため階層化されてます。

サブメニュー……頻繁に使う機能をまとめたメニューで、簡単な操作で呼び出します。

メインメニューの使い方

メインメニューの中から設定したい項目を選択するには、①選択キーでの操作方法と②数字キーでの操作方法のふたつの操作方法があります。本取扱説明書では各機能の操作方法は、②数字キーでの操作方法での説明になっています。

〈注意〉N、NDシリーズは、操作手順のメニューの項目が一部異なりますので注意してください。

①選択キーで操作する。(▲ ▼ サブメニュー ＋ 決定 で操作する。)

操作手順

① メインメニュー キーを押すと「メインメニュー」が表示されます。

「メインメニュー」
1 魚探
2 目的地
3 ルート
4 航跡
5 イベントマーク
6 音声案内/アラーム
7 表示
8 その他
9 GPS

カーソル（水色）が［1 魚探］を選択しています。

② 「メインメニュー」
1 魚探
2 目的地
3 ルート
4 航跡
5 イベントマーク
6 音声案内/アラーム
7 表示
8 その他
9 GPS

最初にメニュー内の1～9の項目を ▲ ▼ キーで選択し、決定 キーを押すと詳細メニューに変わります。

決定 キーを押す →

「詳細メニュー」
1 記録　[1.する,2.しない]
2 航跡記録色
3 表示色設定
4 航跡消去
5 記録間隔
0%使用

※メインメニューに戻りたい時
メインメニュー キーを押すと

▲ キーを押すと上にカーソルが移動します。
▼ キーを押すと下にカーソルが移動します。

③ 「詳細メニュー」
1 記録　[1.する,2.しない]
2 航跡記録色
3 表示色設定
4 航跡消去
5 記録間隔
0%使用

次にメニュー内の項目を ▲ ▼ キーで選択し 決定 キーを押すと設定メニューに変わります。

〈注意〉［1 記憶]の様に「詳細メニュー」内で設定が可能な項目もあります。

決定 キーを押す →

「設定メニュー」
1 白
2 赤
3 水
4 黄
5 緑
6 青
7 紫

カーソルが工場出荷時の設定または、お客様が設定した項目を選択しています。

※1つ前のメニューに戻りたい時
メインメニュー キーを押すと

④ 「設定メニュー」
1 白
2 赤
3 水
4 黄
5 緑
6 青
7 紫

最後に設定項目を ▲ ▼ キーで選択し、決定 キーを押すと完了です。

決定 キーを押すと画面上に「設定しました」と表示され設定が完了します。

〈注意〉「設定しました」と表示されたガイドは、しばらくすると消えますが「設定メニュー」はすぐに消えない場合がありますので、すぐに消したい時は 中止 キーを押して「元の画面」に戻ります。

※ 中止 キーを押さなくても「メニュー自動オフ時間」で設定された時間が経てば、自動的に元の画面に戻ります。（34ページ参照）

「元の画面に戻る」 中止

●詳細メニュー項目の右に設定項目がある場合の選択方法

「詳細メニュー」
1 記録　[1.する,2.しない]
2 航跡記録色
3 表示色設定
4 航跡消去
5 記録間隔
0%使用

「設定項目」

詳細項目を ▲ ▼ キーで選択してから、設定項目を サブメニュー キーで選択し 決定 キーを押すと完了です。

〈注意〉▲ ▼ キーでの選択は、カーソルを合わせるだけです。
サブメニュー キーで選択してから 決定 キーを押します。

サブメニュー キーを押すと左右にカーソルが移動します。

②数字キーで操作する。(1 ～ 9 の数字キーで操作する)

操作手順

① メインメニュー キーを押すと「メインメニュー」が表示されます。

「メインメニュー」
1 魚探
2 目的地
3 ルート
4 航跡
5 イベントマーク
6 音声案内/アラーム
7 表示
8 その他
9 GPS

カーソル（水色）が［1 魚探］を選択しています。

②

「メインメニュー」
1 魚探
2 目的地
3 ルート
4 航跡
5 イベントマーク
6 音声案内/アラーム
7 表示
8 その他
9 GPS

最初にメニュー内の1～9の項目を 1 ～ 9 の数字キーで押すと、押した番号の詳細メニューに変わります。

4 キーを押す →

「詳細メニュー」
1 記録 [1.する,2.しない]
2 航跡記録色
3 表示色設定
4 航跡消去
5 記録間隔
0%使用

※メインメニューに戻りたい時
メインメニュー キーを押すと

③

「詳細メニュー」
1 記録 [1.する,2.しない]
2 航跡記録色
3 表示色設定
4 航跡消去
5 記録間隔
0%使用

次にメニュー内の項目を 1 ～ 5 の数字キーで押すと、押した番号の設定メニューに変わります。

2 キーを押す →

「設定メニュー」
1 白
2 赤
3 水
4 黄
5 緑
6 青
7 紫

カーソルが工場出荷時の設定または、お客様が設定した項目を選択しています。

※1つ前のメニューに戻りたい時
メインメニュー キーを押すと

④

「設定メニュー」
1 白
2 赤
3 水
4 黄
5 緑
6 青
7 紫

最後に設定項目を 1 ～ 7 の数字キーで押すと完了です。

2 キーを押すと画面上に「設定しました」と表示され設定が完了します。

「元の画面に戻る」 中止

〈注意〉「設定しました」と表示されたガイドは、しばらくすると消えますが「設定メニュー」はすぐに消えない場合がありますので、すぐに消したい時は 中止 キーを押して「元の画面」に戻ります。

※ 中止 キーを押さなくても「メニュー自動オフ時間」で設定された時間が経てば、自動的に元の画面に戻ります。（34ページ参照）

●詳細メニュー項目の右に設定項目がある場合の選択方法

「詳細メニュー」
1 記録 [1.する,2.しない]
2 航跡記録色
3 表示色設定
4 航跡消去
5 記録間隔
0%使用

「設定項目」

詳細項目の番号 1 を押してから、設定項目の番号 1 または 2 を押すと完了です。

通常（上記での操作説明） メインメニュー → 「メインメニュー」 → 「詳細メニュー」 → 「設定メニュー」

●便利機能
メニューを続けて2回押す メインメニュー メインメニュー → 「メインメニュー」 「詳細メニュー」 「設定メニュー」

メニューキーを続けて2回押すと、上記での操作説明「メインメニュー」→「詳細メニュー」→「設定メニュー」という様に各メニューを表示させての操作をしないで、「詳細メニュー」を表示することができます。
同じメニュー項目を何度も操作したい場合に便利です。

〈注意〉最後に選択したメニュー画面を表示します。

操作手順

●プロッタ画面が表示されているときに サブメニュー キーを押すと
プロッタサブメニューが表示します。

「プロッタサブメニュー」

```
2 呼出  [1.目的地,2.ルート,3.解除]
3 目的地登録
4 航跡  [1.ON,2.OFF]
5 航跡色  [1■,2■,3■,4■,5■,6■,7■]
6 情報画面  [1.潮汐グラフ,2.気象情報]
7 表示色選択  [1.昼色,2.夜色,3.任意]

0 魚探メニューへ
```

●全魚探画面が表示されているときに サブメニュー キーを押すと
魚探サブメニューが表示します。
〈注意〉N、NDシリーズには魚探サブメニューはありません。

「魚探サブメニュー」

```
1 Aスコープ  [1.入,2.切]
2 干渉防止  〈弱〉
3 感度自動
4 レンジ  [1.自動,2.手動]
5 ↑↓モード 〈無効〉
6 拡大幅設定 〈10〉
7 拡大  〈解除〉
9 STC
0 プロッタメニューへ
```

■「プロッタサブメニュー」が表示されている時に、[0 魚探メニューへ]を選択すると「魚探サブメニュー」表示に切り替わります。また「魚探サブメニュー」が表示されている時に、[0 プロッタメニューへ]を選択するとプロッタサブメニュー」表示に切り替わります。
〈注意〉N、NDシリーズには魚探サブメニューはありません。

■カーソルが表示されている時に、「プロッタサブメニュー」を表示すると、上記の0、2～7の項目以外に[1 VRM][8 一時目的地呼出][9 簡易ルート]の3項目が追加表示されます。

メニュー項目の選択方法は、前ページで説明したメインメニューのふたつの方法と同じですが、「魚探サブメニュー」の一部の機能は、数字キーだけでは操作できません。〈　〉内の項目は、サブメニュー キーを押す毎に表示が切り替わりますので、設定したい項目を選択してから 決定 キーを押してください。

〈輝度調節〉

画面の明るさを調整するには…

本体前面の「輝度」ボタンで操作します。

▲ 明るくなります。　▼ 暗くなります。

◆電源を切ると輝度は[最大]に戻ります。

〈シミュレーション機能〉

センサーなどをつながなくても実際の動作をシミュレートすることができます。

シミュレーション機能を使うには…

※記憶しない

メインメニュー → 8 → 6 → 1 入 / 2 切

※魚探映像はシミュレーション用に作成されたもので、実際の海中とは多少異なります。
※目的地 No.1が登録されていると、自船表示がその位置でシミュレーション機能で使うことができます。
（目的地の登録：56～57ページ参照）
〈注意〉N、NDシリーズには魚探映像は出ません。

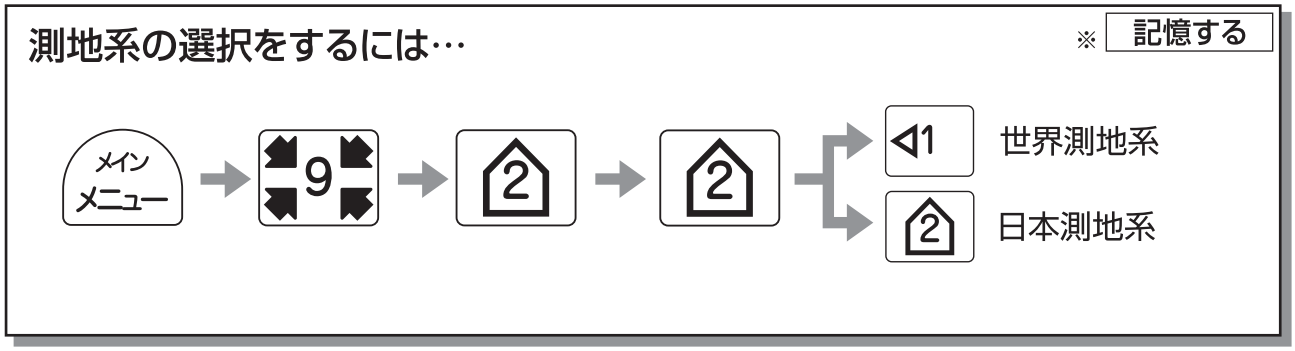
ご使用の前に…(必ずお読みください!)

本機をご使用する前に、必ず初期設定と地図情報アラームの使用方法をお読み下さい。測地系は使用途中で設定を変更するとユーザーデータの表示位置がおかしくなりますので、必ず最初に行ってください。
地図情報アラームは、大変便利な機能ですので、使用方法をよくお読みください。

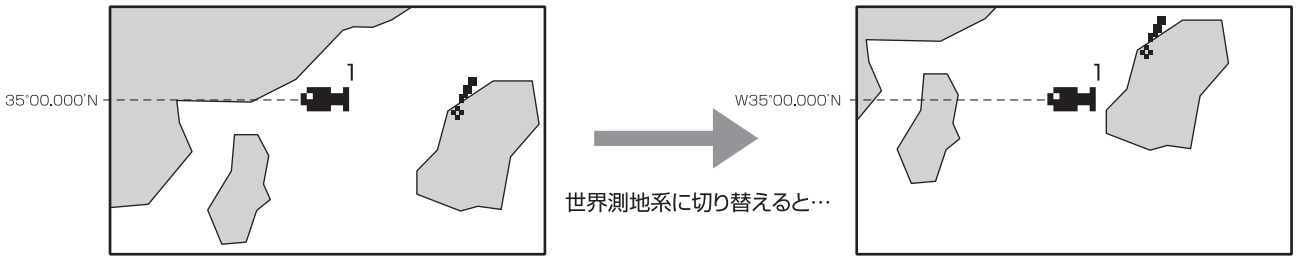
〈初期設定〉

■測地系

●お手持ちの海図のタイプに合わせてください。測地系が異なると、本機で表示される緯度、経度と海図上の緯度、経度に誤差が出ます。
(工場出荷時は:[日本測地系]となっています。)
●世界測地系を選択すると、プロッタ画面上に表示する緯度、経度に「W」が表示します。
〈注意〉ユーザー仲間でデータの交換やデータを登録されるとき、データが世界測地系で登録されたものか、日本測地系で登録されたものか確認してください。使用する測地系とデータの測地系が違うと、データが正しい位置に表示されません。



〈注意〉ご使用途中で設定を変更しますと、それまで登録したポイント(目的地、イベントマーク、航跡など)が、約450m海岸線地図との位置関係が変わります。



世界測地系から日本測地系に切り替えると、海岸線地図が南東方向に、約450m移動します。

〈設定の記憶について〉※本取説内の「操作説明」の右上に記載

各機能によって、本体の電源をOFFしても設定を記憶している機能と記憶しないで、工場出荷時の状態に戻る機能があります。各機能が、どちらなのかは、操作方法の欄に下記のマークで記載されています。

記憶する　本体の電源をOFFしても設定を記憶していることを意味します。

記憶しない　本体の電源をOFFすると設定を記憶しないで工場出荷時の状態に戻ることを意味します。

■自動全データ・設定保存（ＣＦデータカード）

付属のCFデータカードを本体に差し込んで本機をご使用されますと、毎回電源OFFした時に、ユーザーデータ・設定をCFデータカードに自動保存されます。ユーザーデータ・設定は本体内部メモリーに保存されますが、不測の事故・故障等で本体内部メモリーのデータが消失した場合、自動全データ・設定保存をご使用されていれば、データを元に戻すことができます。（注意：元に戻せない場合もあります。）

使用方法を間違えると、データを消してしまう可能性がありますので、使用方法をよくお読みください。

ご使用の前に、9、10ページの「CFデータカードについて」「CFデータカード取扱い上のご注意」、139～142ページの「CFデータカードの使い方」をお読みください。

ＣＦデータカードに全データ・設定を自動保存するには…

記憶する

メイン メニュー → 8 → ◁1 → 8 → ◁1 入 / 2 切

（工場出荷時は：［入］となっています。）

自動保存されるデータは…

CFカード内のデータ保存領域は20ページ分にあらかじめ分けられており、ファイル番号0ページから19ページに設定されています。

自動保存されるデータは、CFデータカードのファイル番号0に毎回、上書き保存されます。記録状況の確認は下記の操作で確認することができます。

注意

全データ・設定保存を［入］でご使用されている場合、毎回電源 OFF 時にファイル番号 0 に上書き保存されますので、不測の事故・故障等で本体内部のメモリーカードのデータが消失した場合やデータを初期化した時に電源を OFF すると、空のデータが上書きされてしまい元に戻すことができなくなりますのでご注意ください。データが消失した時などは、電源を OFF する前に、設定を［切］にするか、本体からデータカードを抜いてください。不測の事故に備えて、定期的に手動保存（139 ページ参照）されることをお勧め致します。他のユーザーのデータカードを使用した時も、上書き保存されてしまいますのでご注意ください。

ＣＦデータカードの記録状況を確認するには…

メイン メニュー → 8 → ◁1 → ◁1 カード情報

カード情報　　スロット　　▲上　▼下

ロイヤルデータカード

ﾌｧｲﾙ 番号		航跡	ｲﾍﾞﾝﾄ	目的地	ルート	ﾒﾓﾏｰｸ	メモ	作図	設定
0	0	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊

マーク:魚探データ

←前頁 次頁→　　1／1　　使用率 5％　　使用

←ファイル番号0に自動保存された全データ・設定が保存されます。

ファイル番号0が表示されていない場合は、自動保存されていません。

ファイル番号1～は、手動保存（139ページ）したデータです。

自動保存されたデータを本体に読み込ませる方法は、140ページをご覧下さい。

注意

電源の切り方について

電源を切る動作中に、ユーザーデータを保存しますので、必ず手順に従って電源を切ってください。船のメインスイッチなどから直接切らないでください。正しい手順で行わないとデータが保存されない場合があります。

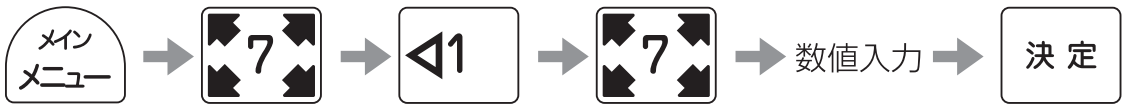
■メニュー自動オフ時間

本機メニュー機能は表示された後、設定された数秒の間に次のキー操作がない場合、自動的に元の画面に戻る機能です。メニュー項目によっては設定後、メニューが消えずに、メニュー自動オフ時間の設定した時間が経たないとメニューが消えない物もあります。また、自動オフしない項目もありますので、元の画面に戻りたい時は、中止 キーで元の画面に戻ります。初めて本機をご使用される方は、時間を長く設定し、操作方法を覚えてきたら、時間を短く設定することをお勧めします。

（工場出荷時は：［30秒］となっています。）

メニュー自動オフ時間を決めるには…

記憶する



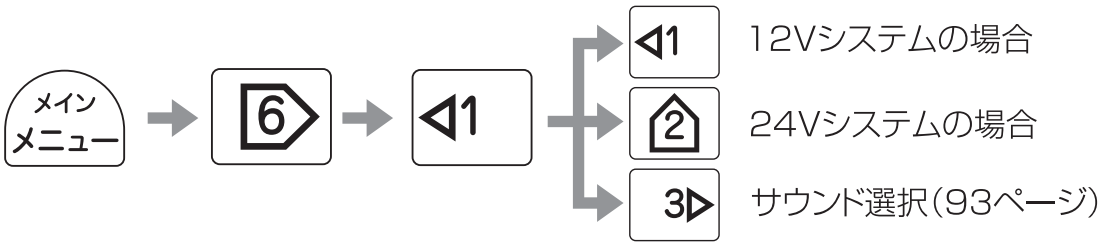
※メインメニューとサブメニューは同じ時間設定になります。
設定時間:10～300秒

■バッテリー電圧（バッテリーアラーム）

使用しているバッテリーの電圧を設定してください。画面上のバッテリー電圧表示が、ある一定の電圧以下になるとアラームがなります。

使用しているバッテリーの電圧を設定するには…

記憶する



●12Vシステムの場合は電圧表示が10.0V以下で、24Vシステムの場合は電圧表示が20.5V以下になるとアラームが鳴ります。

●アラーム音と一緒に画面の電圧表示の右側に − + マークが点滅します。

●アラームの音を止めるには… 中止 キーを押す。アラーム音が止まり、マークの点滅は残ります。

（一旦アラームの条件が除かれたあとで再びアラーム状況になった時はまた音が鳴ります。）

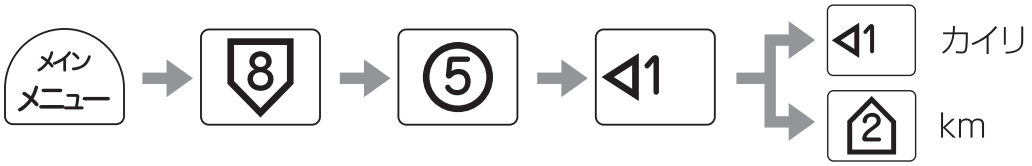
●音声ガイドユニットを接続すると「電圧が低下しています」とアナウンス致します。

（工場出荷時は：［12V］となっています。）

■距離の単位

距離の単位は「距離スケール」「目的地航法時のデータ表示」「カーソル時の自船からの距離」の表示が変更されます。
（1海里：1852m）
（工場出荷時は：［カイリ］となっています。）

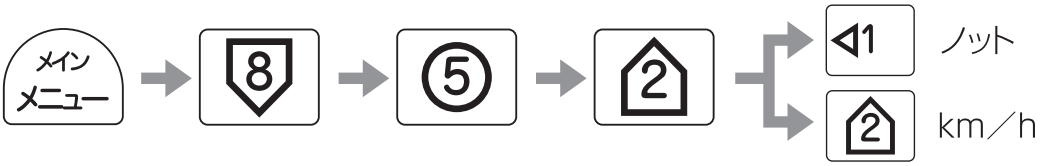
距離の単位を選ぶには… 記憶する



■速度の単位

速度の単位は「自船速度」の表示が変更されます。（1ノット：1.852km/h）
（工場出荷時は：［ノット］となっています。）

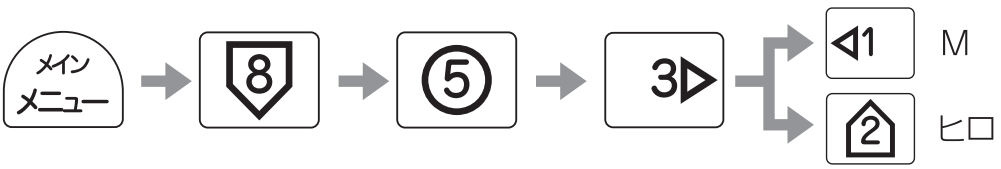
速度の単位を選ぶには… 記憶する



■水深の単位

水深の単位は「水深」の表示が変更されます。（1ヒロ：1.5m）
（工場出荷時は：［M（メートル）］となっています。）
〈注意〉N、NDシリーズにはこの機能はありません。

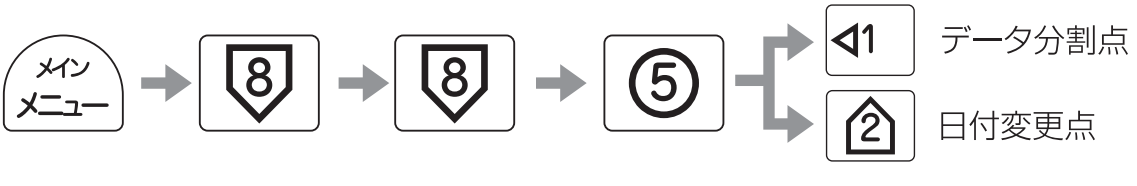
水深の単位を選ぶには… 記憶する



■頭出しキーの設定

魚探ログデータの再生画面時に 頭出し キーを押すと、あらかじめ分割点に頭出しするか、記録した日付の変更点に頭出しするか選択することができます。（149、151～152ページ参照）
（工場出荷時は：［データ分割点］となっています。）
〈注意〉7インチワイドモデル、N、NDシリーズにはこの機能はありません。5200NF-ST/STDシリーズ、8400NF-ST/STDシリーズはオプションになります。

頭出しキーの操作を選ぶには… 記憶する

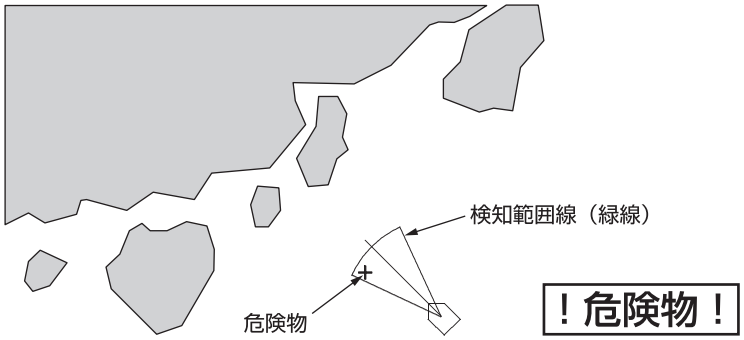


■地図情報アラーム

本機の電源を入れた直後や操船されている時、画面上に「！浅瀬！」「！危険物！」「！航路！」などのメッセージが点滅した場合は、地図情報アラームが動作していることを意味します。

地図情報アラームとは…

地図上の表示物（浅瀬、危険物など…）を遠距離から検知する機能です。



船首方向や自船の周りに表示している、緑色の線が地図情報アラームの検知範囲を意味します。検知範囲は船速により検知範囲が可変（扇形の形や大きさ）します。検知範囲内に検知する表示物が入ると画面上に検知した表示物名の点滅とアラームでお知らせします。

警告

- **本装置からの情報（音声）は直接航海の用に供するためのものではありません。詳細な情報及び最新の情報については海上保安庁刊行の海図を参照して下さい。**
- **本装置からの情報を頼り切り招いた人身事故および物的損傷に対しては当社は一切の責任は負いませんので、十分注意してご使用下さい。**
- **地図情報アラームは参考的な機能のため、情報に頼り切らないで下さい。**
- **地図情報アラーム停止エリア内に入る場合やいる時など、エリア内に入ることのお知らせはしませんのでご注意ください。**

検知することができる地図上の表示物は…

- ●浅瀬……干出浜、低潮線
- ●危険物……暗岩［ ＋ ：赤色］、洗岩［ ⁜ ：赤色］、干出岩［ ⁜ ：赤色］
- ●国境線……北海道の根室海峡付近と九州の対馬の付近に表示されます。［▬ ▬ ▬ 粗い点線：赤色］
- ●航路……［▬▬▬ 実線：水色］
- ●5海里線…［ ▬▬▬実線：黄色］

工場出荷時は、上記の全ての表示物を検知する設定になっています。各表示物ごとに設定が可能です。
国境線、航路、5カイリ線は、その領域内（禁止区域）に入っているか認識できないため、禁止区域から出る時も検知してしまいます。

各表示物ごとに検知設定するには…

記憶する

［NF/NFD/ST/STDシリーズ］

メインメニュー → 6 → 8 → ◁1 → 2 浅瀬 / 3▷ 危険物 / 4 国境線 / 5 航路 / 6 5海里線 → ◁1 入 / 2 切 / 3▷ サウンド選択（93ページ）

［N/NDシリーズ］

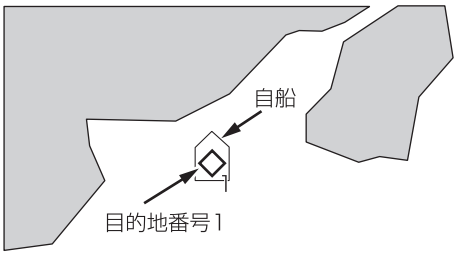
メインメニュー → 6 → 6 → ◁1 → 2 浅瀬 / 3▷ 危険物 / 4 国境線 / 5 航路 / 6 5海里線 → ◁1 入 / 2 切 / 3▷ サウンド選択（93ページ）

地図情報アラームは、工場出荷時はアラームが鳴らない設定になっています。アラームを鳴らす場合や、ある地域は地図情報アラームを動作させ、母港付近など浅瀬や危険物の場所が分かっていて、地図情報アラームを動作させたくない場合などは、次ページの設定を行ってください。アラームを鳴らさないで使用できますが、地図情報アラーム機能は、本機から目を離している時に、危険を音で知らせる機能ですので、アラーム音を鳴らすように設定してください。

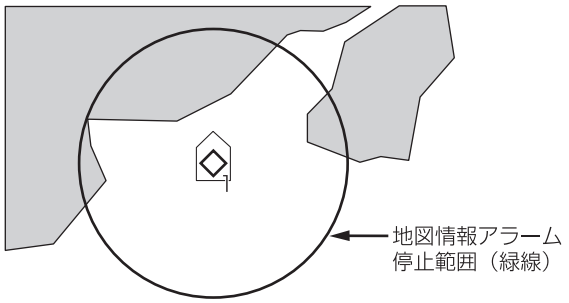
■地図情報アラームの動作をさせる及び停止範囲位置の登録（目的地番号1の登録）

目的地番号1に目的地を登録することによって、地図情報アラームのアラーム音が鳴るようになり、地図情報アラーム停止範囲が動作致します。また、目的地番号1の位置が、地図情報アラーム停止範囲の中心位置になります。

〈注意〉●目的地番号1に登録しないと、地図情報アラームのアラーム音を鳴らすことができません。
●目的地番号1以外に登録した場合は使用できません。
●目的地番号1に登録した目的地を消去すると、地図情報アラームのアラーム音が鳴らなくなります。



自船位置に目的地番号1を登録すると…

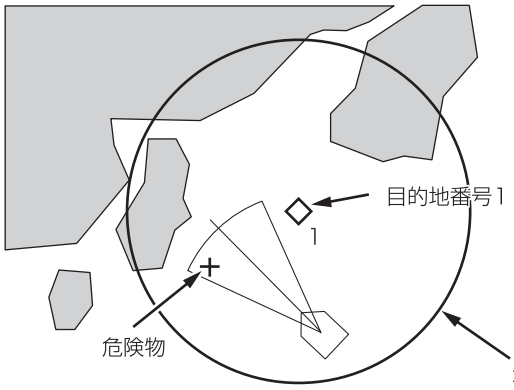


検知した時にアラームが鳴るようになり、目的地番号1の回りに地図情報アラーム停止範囲（緑線）が表示します。

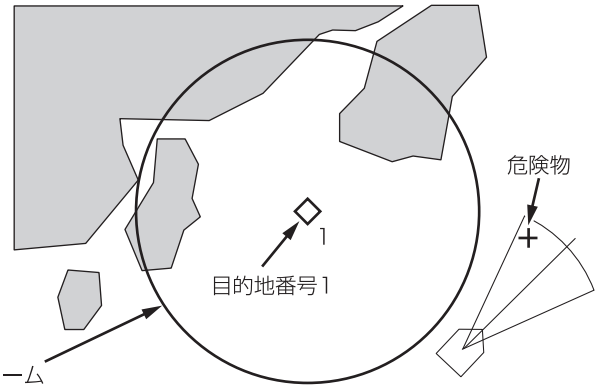
〈注意〉アラームが鳴るようになりますが、上図は自船が地図情報アラーム停止範囲内にいるため、検知致しません。

地図情報アラーム停止範囲とは…

地図情報アラーム使用時に、母港付近など浅瀬や危険物の場所が分かっていて、地図情報アラームを動作させたくない場合に、母港付近に目的地番号1を登録しておくと、母港付近が停止範囲になり、自船が停止範囲内に入ると地図情報アラームの動作が停止する機能です。停止範囲を設定しないことも可能です。



地図情報アラーム停止範囲内では検知しても動作致しません。



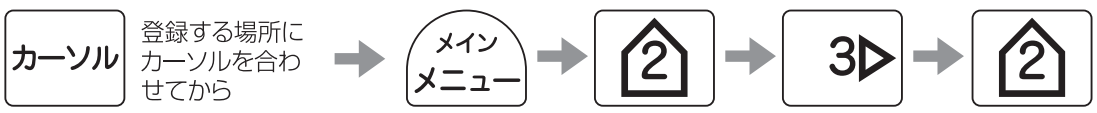
地図情報アラーム停止範囲外では検知すると動作致します。

地図情報アラーム停止範囲位置の登録をするには…（2つの方法があります）

記憶する

①自船位置を目的地番号1として登録する…

②カーソル位置を目的地番号1として登録する…



〈注意〉目的地番号1に目的地が登録されていると違う番号に登録されてしまいます。

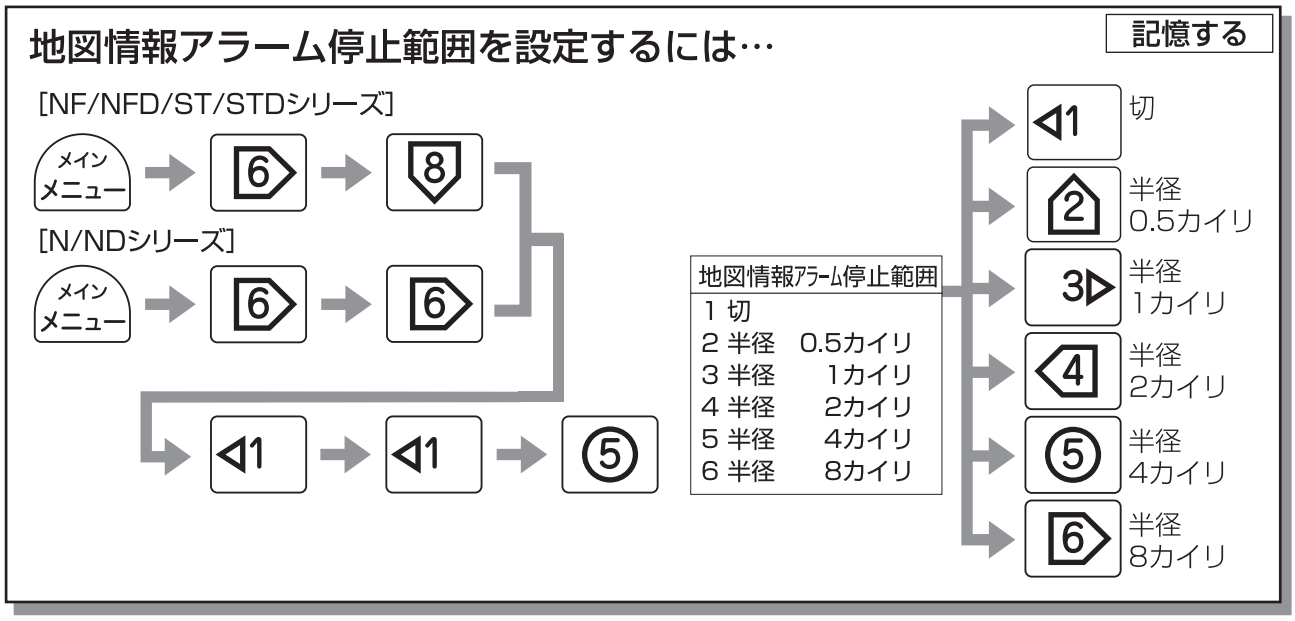
〈注意〉

目的地番号1の登録が完了した時点で、地図情報アラームのアラームが鳴る場合があります。自船位置に目的地番号1を登録された場合は、地図情報アラーム停止範囲内に自船がいるため、地図情報アラームが動作致しませんが、カーソルを使用して自船から離れた場所に、目的地番号1を登録した場合は、自船位置が地図情報アラーム停止範囲外だと、自船の近くに検知する表示物があると地図情報アラームが動作しアラームが鳴りますので注意してください。

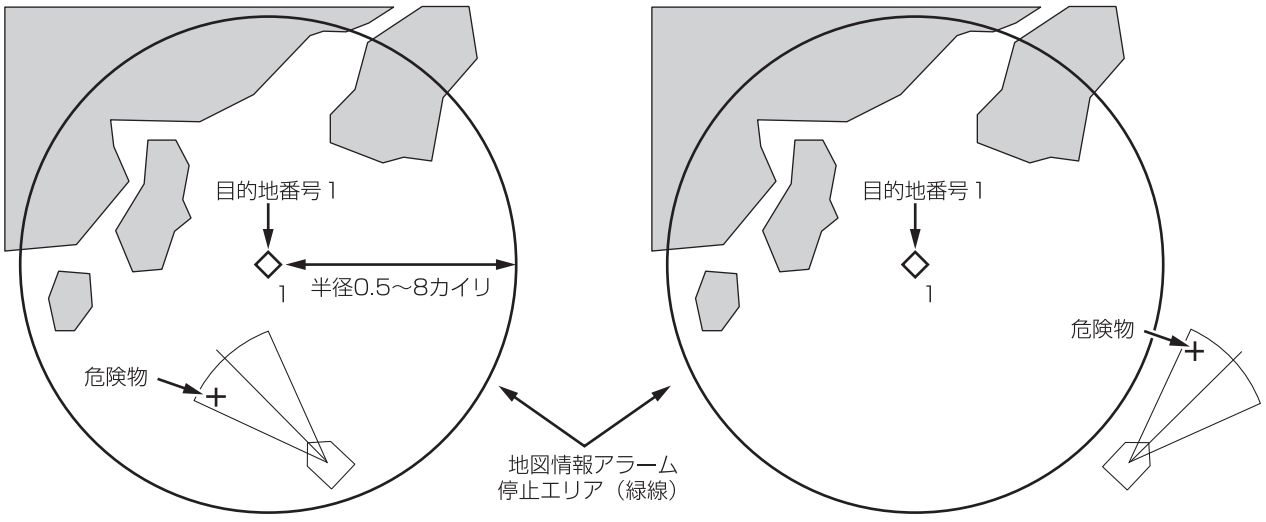
アラームの音を止めるには… 〔中止〕キーを押す。アラーム音が止まり、マークの点滅は残ります。

（一旦アラームの条件が除かれたあとで再びアラーム状況になった時はまた音が鳴ります。）

工場出荷時は、地図情報停止エリア範囲は、[半径1カイリ]となっています。範囲変更または、停止範囲を使用しないことも可能です。



[切]を選択すると停止エリアが解除になり、どこでも鳴るようになります。



地図情報アラーム停止エリア内では
検知しても動作致しません。

地図情報アラーム停止エリア外では
検知すると動作致します。

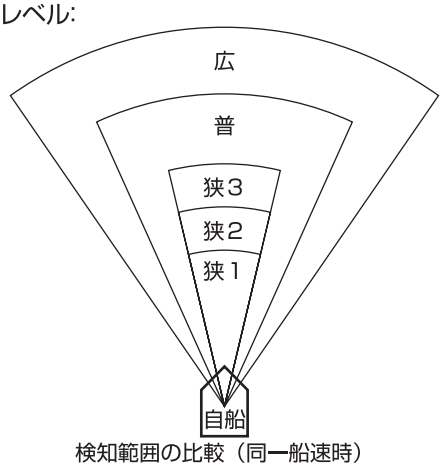
検知範囲について…

検知範囲は、船速によって検知距離、検知角度が可変する自動と検知距離、検知角度を選択する手動があります。

■検知範囲　自動

検知範囲は、船速によって検知距離、検知角度が可変します。検知範囲レベルの違う物が6種類ありますので使用する場所や船の最高速度によって設定を変えてください。

検知範囲レベル:

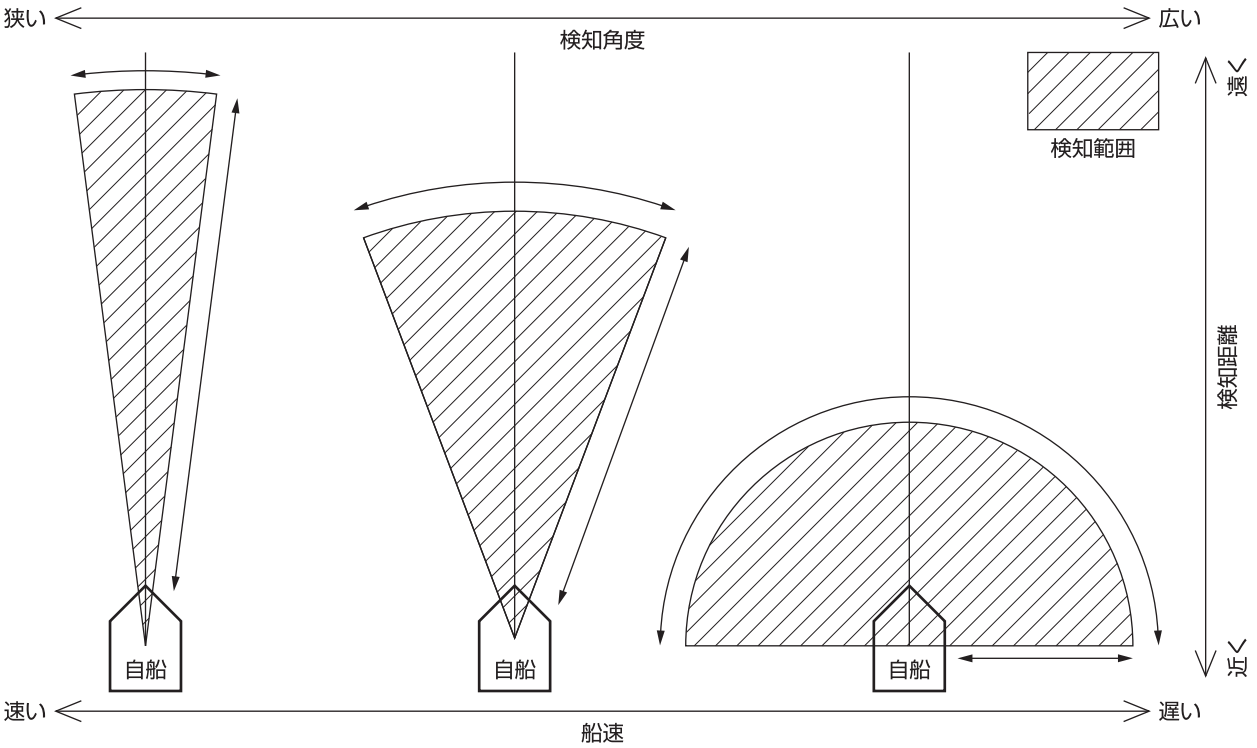


検知範囲の比較（同一船速時）

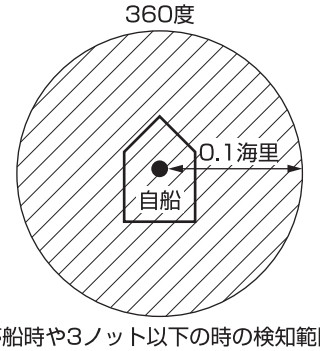
●検知範囲　狭1～3・・・短めの距離と狭めの角度で可変する。
●検知範囲　普・・・・・・平均的な検知距離と角度で可変する。
●検知範囲　広・・・・・・長めの距離と広めの角度で可変する。
（工場出荷時は：［狭1］となっています。）

検知範囲　自動の動作：

●船速が速いときは検知距離が遠く検知角度が狭い
●船速が遅いときは検知距離が近く検知角度が広い



●停船時や船速が3ノット以下の場合は、角度：360度、距離：0.1海里の固定検知になります。



停船時や3ノット以下の時の検知範囲

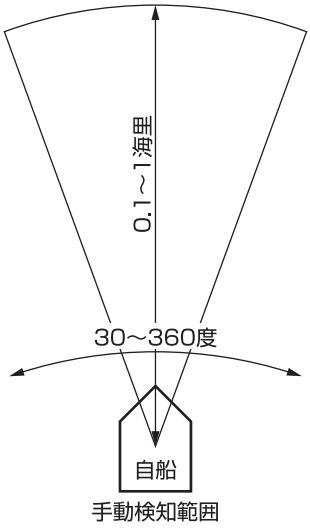
■検知範囲　手動

検知距離、検知角度を選択します。選択した値での固定検知になります。

●停船時や船速が3ノット以下の場合は、角度：360°、距離：0.1海里の固定検知になります。

●距離、角度のどちらかを手動設定を行うと距離、角度とも手動の設定値で動作致します。

（工場出荷時は：［自動動作］となっております。）



手動検知範囲

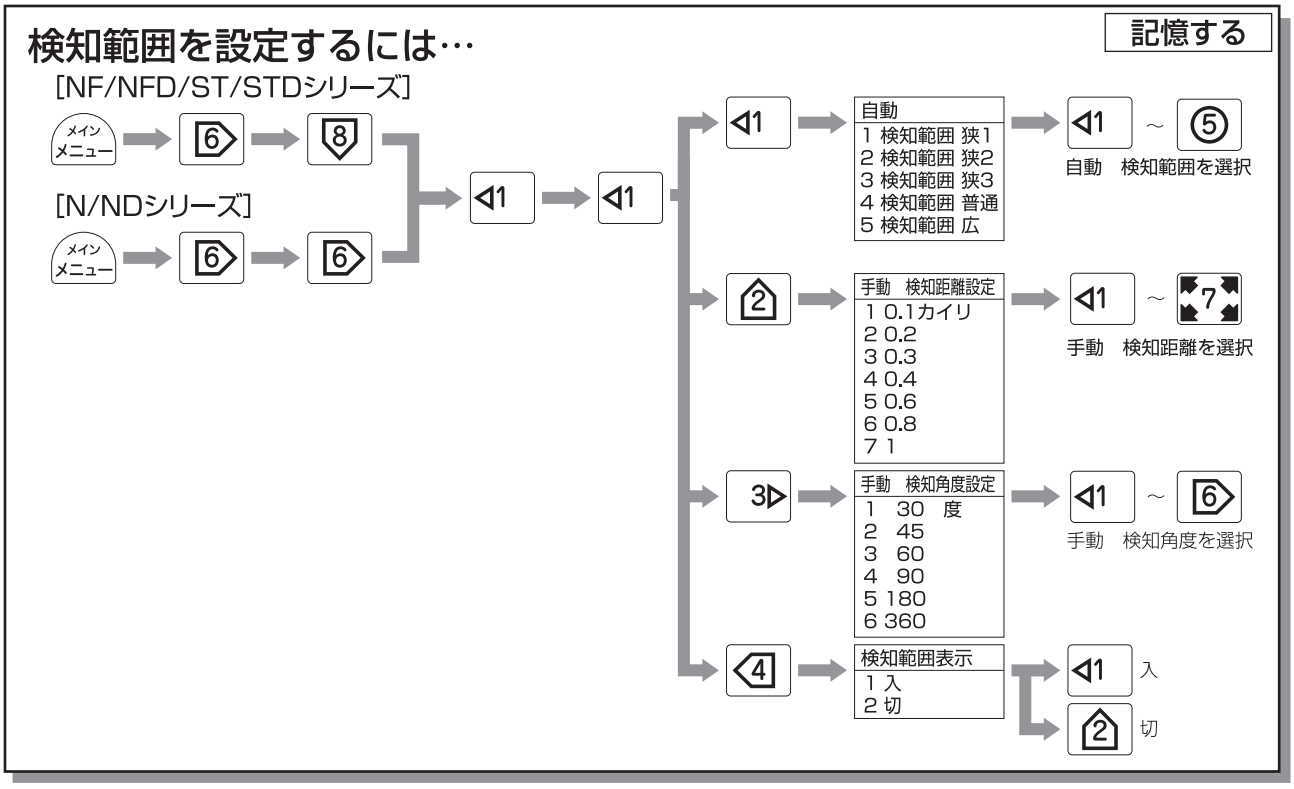
⚠警告　船速には対応しなくなりますので、走行には十分注意してご使用下さい。

■検知範囲表示

検知範囲表示の設定。検知範囲表示を[切]にすると検知範囲線が消えます。

●検知する表示物設定が[入]の場合は、検知範囲線表示が[切]でも検知機能は動作しています。

（工場出荷時は：[入]となっております。）



地図情報アラームは、音声ガイドユットを接続すると音声でお知らせします。

●浅瀬……「前方、浅瀬に近づいています」
●危険物……「前方、危険物に近づいています」
●国境線……「前方、国境線に近づいています」
●航路……「前方、航路に近づいています」
●5海里線…「前方、5海里線に近づいています」

} とアナウンス致します。

〈注意〉検知範囲が360度の時に検知すると、船首方向の判別ができませんので、「前方」とアナウンスされますが前方とは限らないので注意してください。